

日時: 2015年10月27日 16:00-17:30

場所: 401 会議室

## ゲノムコホートが拓くゲノム・オミックス医療 Genome Cohort Study Toward Genome Omics Medicine

### 開催趣旨:

本フォーカストセッションはバイオインフォマティクスの医学応用のフォーカストセッションである。米国ではオバマ大統領が2015年1月20日に一般教書演説にて精密医療(Precision Medicine)のプログラムを発表するなか、わが国においては内閣官房 健康・医療戦略室のゲノム医療実現推進協議会が7月15日に中間とりまとめ(案)を発表するなど、国内外でゲノム・オミックス医療の実現に向けた動きが急である。これまで本フォーカストセッションでは、第1回は「バイオインフォマティクスと医療情報学」、第2回は「ゲノム電子カルテ」について取り上げ、非常に活発で有意義な議論を行うことができた。第3回ではゲノムコホートに焦点を当て、国内外のゲノムコホートの動向や、ゲノムコホートによるゲノム・オミックス医療などを中心に、現状の課題と将来展望などについて広くご討論いただき、会場の方々とブレインストーミングを行う場を提供したい。

モデレーター: 荻島 創一 Soichi Ogishima

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

Tohoku Medical Megabank Organization, Tohoku University

タイトル **我が国のゲノム・オミックス医療の実現と東北メディカル・メガバンク機構の取り組み**

Title **Realization of genome & omics medicine in Japan and Tohoku Medical Megabank Project**

田中博 Hiroshi Tanaka

東北大学東北メディカル・メガバンク機構医療情報 ICT 部門

Div. of Health Record Informatics, Tohoku Medical Megabank Organization, Tohoku University

タイトル **ゲノム医療の実現に向けた BiobankJapan の取り組み**

Title **BiobankJapan project toward realization of genomic medicine**

松田 浩一 Koichi Matsuda

東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻クリニカルシーケンス分野 教授

Laboratory of Clinical Genome Sequencing, Group of Medical Sciences, Dept. of Computational Biology and Medical Sciences, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo

\*\*\*\*\*

そこで、本フォーカストセッションでは、上記のプログラムの通り、国内外のゲノムコホートの動向としてバイオバンクジャパンの第3期計画と東北メディカル・メガバンク計画について、東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻クリニカルシーケンス分野の松田浩一教授と東北大学東北メディカル・メガバンク機構医療情報 ICT 部門の田中博特任教授のお二人の演者にご講演いただきます。

バイオバンクジャパン、「オーダーメイド医療の実現プログラムの目的は、病気の詳しい原因を解明することを通して新しい薬や治療法を開発していき、遺伝子の特徴が合うか合わないかを調べて副作用を回避するような「薬の使い分け」や「治療の最適化」といった、「オーダーメイド医療」を実現することです。2013年にはじまった第3期では、薬の副作用についての研究の結果を医療の現場に反映し、治療法そして予防法へ応用していくことを目指します。第3期では、第1期と第2期の10年間で積み上げてきたものをさらに発展させていくため、2つの研究を同時に行っています。まずひとつめが、第1期・第2期で患者さんにご提供いただいたデータをより確かなものにするために、患者さんの健康状態を追跡調査していきます。そして2つ目に、38疾患を対象に、新たに10万人の患者さんからDNAや生活習慣の情報、カルテ情報などをご提供いただき、病気のかかりやすさや薬の効きやすさ、そして副作用の出やすさに関連する遺伝子を発見していく研究を進めていきます。」

「東北メディカル・メガバンク事業におけるバイオバンク事業とは、

- ・地域の方々を対象とした長期にわたる健康調査事業
- ・お預かりした生体試料と医療情報等を統合したバイオバンクを構築し、運用する事業
- ・バイオバンクに集積した試料・情報を高度な技術で解析する事業

を含みます。これらを東北の地で行うことにより、東北を未来型医療と最先端研究の拠点とし、復興に貢献します。」